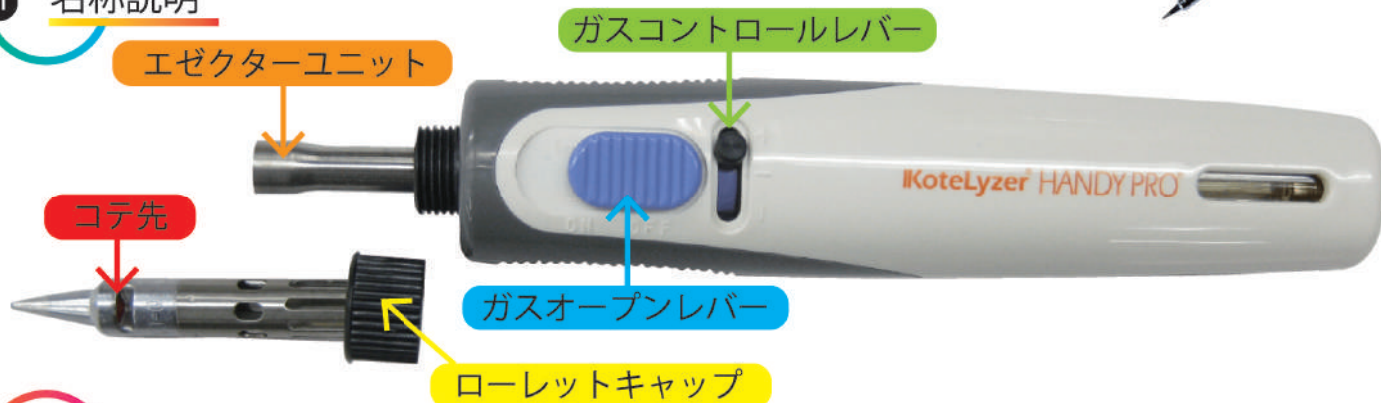


ガス吐出量の調整について KoteLyzer® HANDY PRO®



01 名称説明



02 ガス吐出量調整について

工場出荷時には使用環境温度 20℃を想定し、ガスコントロールレバーが右端 (MAX) の状態で、炎長が 14 ~ 15mm になるように調整がされています。

炎長が小さ過ぎても、大き過ぎても着火不良の原因となります。

吐出量調整が必要な時

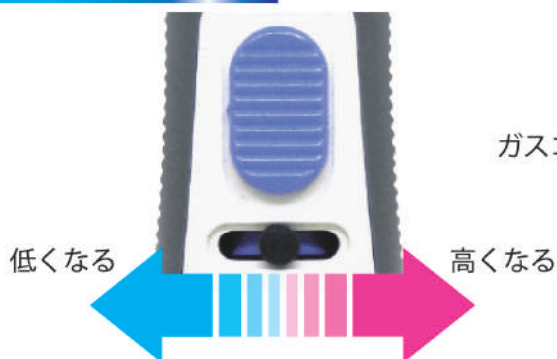
1 ガス吐出量が低い場合

- ・着火後、触媒反応が悪く、コテ先がなかなか温まらない
- ・コテ先を外し、ライターで着火しても炎が小さくすぐに消えてしまう
- ・ガスの吐出音が小さい、またはしない

2 ガス吐出量が高い場合

- ・着火してしばらく使用すると『ジュジュジュ』という音になり、触媒反応が消えてしまう
- ・コテ先を外し、ライターで着火しようとする、炎が弾かれて着火しない

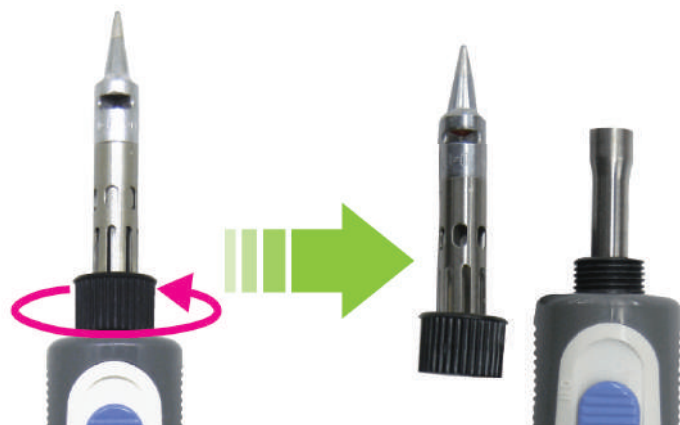
吐出量調整の基本



ガスコントロールレバーを右に移動させると炎長は**高**くなり
左に移動させると炎長は**低**くなる

事前準備

ローレットキャップを回して外し、エゼクターユニットが見える状態にします。



用意する物

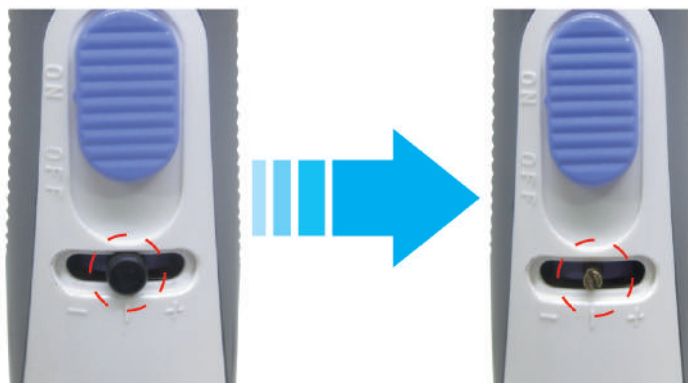
マイナス精密ドライバー
(先端：1.4mm)

スケール
(金属製定規)

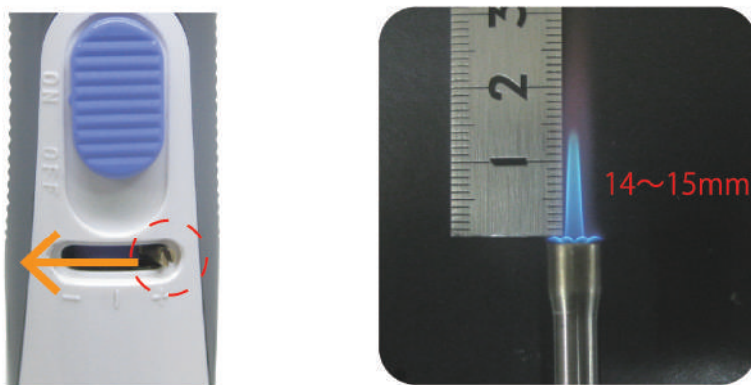
ライター又はトーチ

03 吐出量を下げる場合

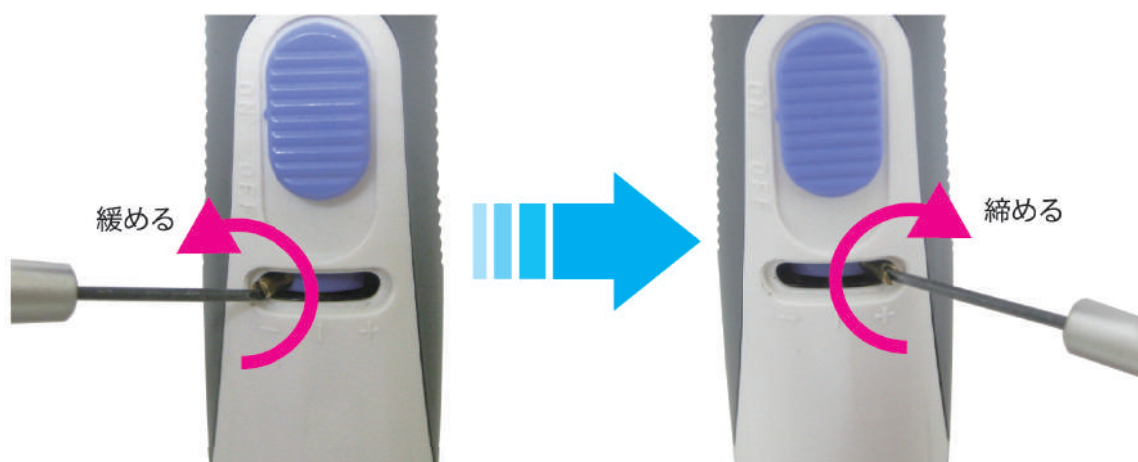
- 1 ガスコントロールレバーのつまみ（黒いゴム製）を外すと調整のネジになっています。
ガスオープンスイッチを上げてライターで着火します。
(ガスコントロールレバーが左端でも炎がガスに弾かれて着火しない場合は左端の状態の下記の 3 へ)



- 2 ガスコントロールレバーを徐々に左に移動させ、炎長が 14～15mm に下がるまで移動させます。
(左端でも炎長が 14mm 以上の場合は左端の状態の下記の 3 へ)



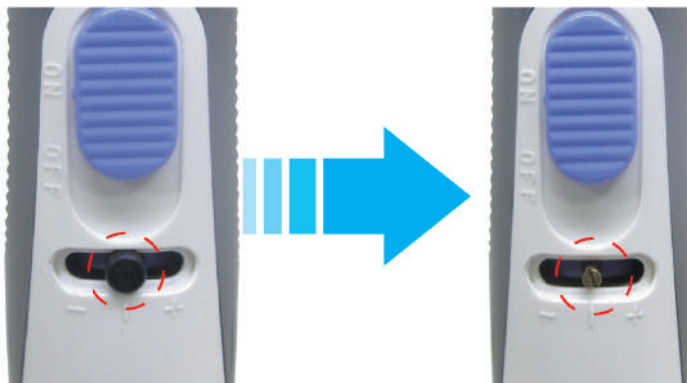
- 3 マイナスドライバーでガスコントロールレバーのビスを緩めます。
ビスを緩めた状態でガスコントロールレバーを右端に移動させビスを締めます。



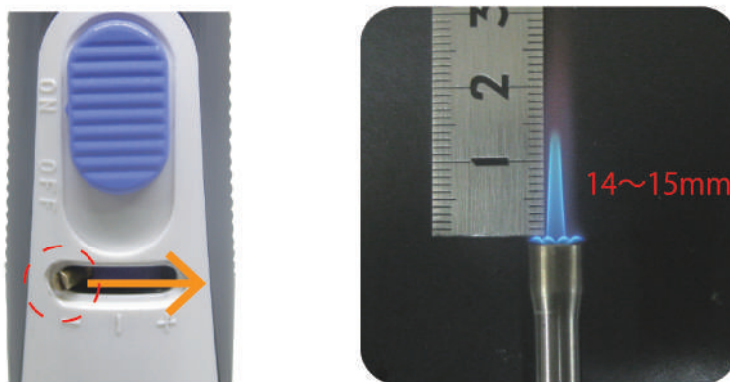
- 2 と 3 を繰り返す、最終的にガスコントロールレバーが右端の位置で
炎長が 14～15mm になるように調整します。

04 吐出量上げる場合

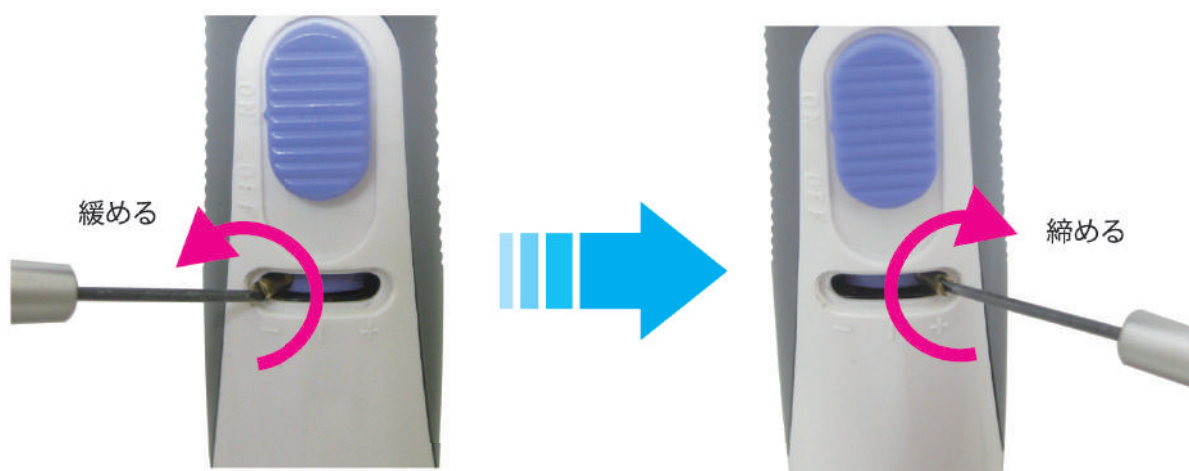
- 1 ガスコントロールレバーのツマミ（黒いゴム製）を外すと調整のネジになっています。
ガスオープンスイッチを上げてライターで着火します。
（ガスコントロールレバーが右端でも着火しない場合は右端の状態の下記の 3 へ）



- 2 ガスコントロールレバーを徐々に右に移動させ、炎長が 14～15mm 上がるのところまで移動させます。
（ガスコントロールレバーが右端でも炎長が 14mm 未満の場合は右端の状態の下記の 3 へ）



- 3 マイナスドライバーでガスコントロールレバーのビスを緩めます。
ビスを緩めた状態でガスコントロールレバーを右端に移動させビスを締めます。



- 2 と 3 を繰り返し、最終的にガスコントロールレバーが右端の位置で
炎長が 14～15mm になるように調整します。